

わたしたちの人権

154

誰もが人間として生きていくうえで
 侵すことのできない当然の権利
 これが『人権』です

子どもたちの人権作文

12月の人権旬間にあわせて、子どもたちが書いた人権作文を1・2月号でご紹介します。(今月は、中島小 橘優羽さん・矢部小 大塚葵さん・清和小 田上椎菜さんの作文を掲載し、来月号には、矢部中 児玉智也さん・清和中 緒方さくらさん・矢部高 松田菜弥さんの作文を掲載します。)

わたしのがんばり ぼくのがんばり

中島小学校 2年 橘 優羽さん



「おおきな絵だなあ。どうやってかいたんだろう。」
 じどうかんの2かいのかべには、おおきな絵がありまして。へき画というそうです。わた

したちは、中村先生にこのへき画について話をききました。この絵は、かいほうこども会の子どもたちが36年前にかいたそうです。かいほうこども会は、さべつをゆるさない、さべつをなくすことをがんばっている子ども会です。

わたしは、この絵の中の、教室ではつびようしている男の子が、心にのこりました。この村は道がせまくて、きゆうきゆうしややしょうぼうしやが通れなかったそうです。だから、男の子のおじいちゃんや、何でもやくばにいつて、「みちをひろげてください。」とおねがいました。みんなのために、がんばっているのが、すごいとおもいました。

わたしのお母さんも、おにいちゃんのこと、小学校の先生や中学校の先生や、町のやくばに、そうだんしたり、おねがいをしたり、話をしにいったりしました。男の子のおじいちゃんにっている

し、本当の友だちになれると思うからです。

人権センターで学んだこと

清和小学校 6年 田上 椎菜さん



わたしが、のぶ子先生の話聞きながら一番心に残ったことは、きかいで

右手を失ったお母さんが一生懸命左手で勉強をしている姿を描いてあることです。みんな自分の姿で表現しているのに、この絵を描いた人は、お母さんのがんばりの姿から、自分も勉強をがんばろうと思いました。差別によって学校に行けない、文字の勉強ができない、とてもおかしいと思いました。差別が文字をうばったんだと分かりました。だからこのお母さんは、文字を取りもどすために一生懸命勉強していることが分かりました。お母さんのこのがんばりの姿が子どもに力をあたえ、「自分も勉強がんばる、勉強して正しい判断ができるようになる。」という決心につながったと思います。

絵の中に大きく描いてあった女の子の姿もとても心に残りまし

とおもいました。お母さんは、「じぶんがやっていることが、だれかのやくにたっていたらうれしい。」と、いつていました。

わたしは、いいたいことを、がまんしてしまったり、どうせいつでもわかってくれんとおもっていいわないことがあります。それは、ゆうきがなとおもいました。

お母さんみたいに、じぶんのおもっていることを、ちゃんといふことをがんばっていききたいとおもいます。

人権学習を通して学んだこと

矢部小学校 6年 大塚 葵さん



二期期の人権学習は、「私の母」という作文をもとに学びました。

「私の母」では、牛養いをしていらっしゃるお父さんとお母さんが毎日休みなく働き、家事や人権のことにも取り組むお話をしました。それを聞いて、家の人に聞き取りをしました。

私は、お母さんに聞き取りをしました。私の母さんは、介護の仕事をしています。26才から、ひいおばあちゃんのお世話をするために

に始めたそうです。お母さんは、利用者の人が笑っているときや、「痛みがなくなった」と、言ってもらえるときに、やりがいを感じてます。

心掛けていることは、「自分が元気であること」、「誰にでも変わらない態度でいること」だそうです。私は、苦手な人に同じ態度で接することができないときがあるから、「お母さんはすごい」と、思います。それに、家に帰ったら家事や育児といった家庭の仕事も頑張っています。私たちが困らせることがあっても、文句も言わず最後まで終わらせます。そんなお母さんはすごいです。また、お姉ちゃんが遅くまで勉強していたら、「大丈夫、あんまり無理しないでいいよ」と、声を掛けてくれます。私たちが病気になるたら、眠いの頑張ってお世話してくれま

す。いつも優しく励ましてくれて、とてもうれしいです。

そんなお母さんに聞き取りをして、メッセージをもらいました。それは、「体調管理が大切」「周りに目を配る」「相手のことを思いやる気持ちを持つ」「自分のことを好きになる」「苦手なタイプのひとでも上手につきあう」です。このメッセージをもらって、お母

です。私は少しずつ意見が言えるようになってきました。意見が言えるだけでなく、大きな声で言えるようになりました。

他にもへき画で学んだことがあります。学校中で「5・23集会へ行こう」とよびかけた子ども達に周りの人たちは、差別なんてしてないと言ったのがゆるせなかったし、いかりがこみあげてきました。でもどんなに反対する人がいても、差別される側の人差別はおかしいことに気付き、学校中や周辺の人にあきらめずによびかけたことがすごいと思います。差別は、うったえないと何もかわりません。だからこそ、一人でも行動する大切さを学びました。差別は、本人の責任ではなく周りの人たちの責任であることも学びました。今まで、私は差別をしている側にいたかもしれない、のぶ子先生の話聞きながら、また、思いなおしました。

これからは、相手にいやなことを言っていないか、差別がなくなるために行動できているかをしっかり考えていきたいです。そして、まちがったことに対して、自分の言葉で、それはおかしい、まちがっているということを伝えていきたいです。

さんは体調が悪くてもいつも仕事に行っていて、すごいと思います。だから、何かを続けようとするときは、体調管理が大切だと、思いました。

私には、小さい頃からの夢があります。それは、保育士になるという夢です。なぜかというと、子どもが好きだし、保育士の先生方に恩返ししたいからです。だから、その夢を叶えるために、たくさん勉強したいと思います。夢を叶えるために、いろんな勉強の中でも、人権学習を頑張っています。それは、人権学習を通して、自分の気持ちを相手に伝えることの大切さを学べるからです。誰でも、いつも人の目を気にして過ごしていたら、毎日が楽しくないと思います。だから、自分の気持ちをかくさず相手に伝えることが大切なのではないかと、思います。

私は、自分の気持ちを素直に相手に伝えるのが、あまり得意ではありません。ただ、人権学習を通して、自分の気持ちを伝えることで本当の友だちになれると思います。だから、勇気を出して、自分の素直な気持ちを伝えてみようと思います。最初は無理かもしれませんが、勇気を出して伝えます。そうしたら、もっと仲良くなれる